

草津川跡地の全域を一つの「緑軸」としてとらえ、「ガーデンミュージアム*1」というコンセプトのもと、まちなかと琵琶湖をむすび、人と人をつなぐ、全国に類を見ない草津市ならではのオンリーワンの魅力空間づくりを進めていきます。

周辺市街地の連携・連続性にも配慮しながら、市民、事業者、行政などが一体となったエリアマネジメント*2手法により、永く市民に愛され、多くの人が訪れ、長い年月にわたり利用されるにぎわい空間として都市価値の向上につなげていきます。



周辺の農空間と連携し、環境にやさしい農業をテーマにしたガーデンを形づくりします。新鮮な食材提供など、マルシェガーデンとも連携します。

エコ・ファーム
ガーデン



ナチュラル
ガーデン

ありのままの自然の花や木の姿を活かし、植物の生きる力が伝わる、安らぎや癒しを基調としたガーデニング手法により組み立てます。

マルシェガーデン

地産の品をあつかう市場、カフェ、レストランなど、集客機能を備えたにぎわい空間の核とします。



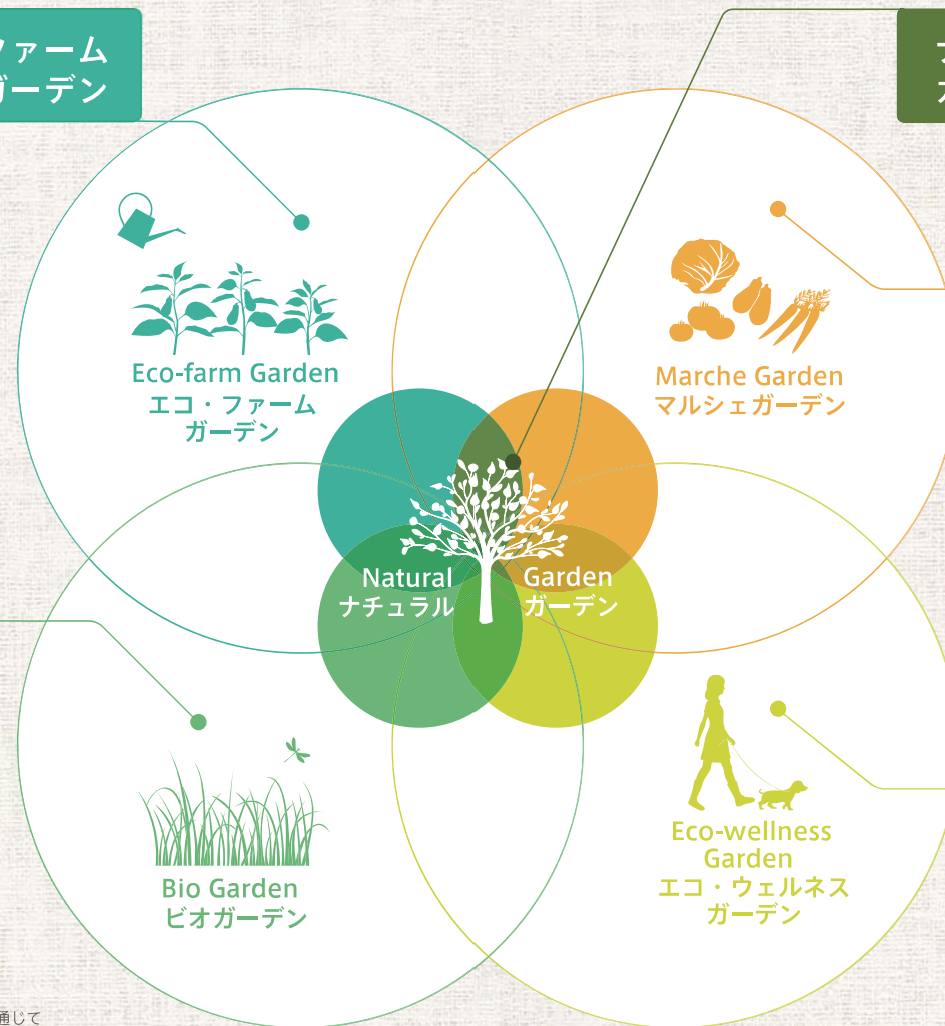
環境共生をテーマに、雑木林や水辺で自然と遊び・学ぶ空間をつくります。

バイオガーデン



エコ・ウェルネス
ガーデン

健康づくり、子育てや遊びなど市民の憩いの場となる空間を創ります。



*1 ガーデンミュージアム：草津川跡地の空間像を示した言葉。「人と自然」「人と人」がつながり、時の流れの中で成長し、様々な活動を通じて創出される、生き生きとした風景とします。

*2 エリアマネジメント：一つの目標に向かって、地域が長い年月をかけて発展し続けられるようにするため、市民、事業者、行政など多様な主体が一つの組織の中でつながり、役割分担、共同行動できる新しい仕組みをつくるものです。